

## 安全データシート

Japan

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 Optitran BA-S 83, 200 x 200 mm, 25 pack

コード番号 10439391

製品タイプ 固体。

発行日/改訂版の日付 2016年9月12日

前作成日 前もって確認されていない

推奨用途及び使用上の制限

意図される使用

Use in laboratories

## 供給元

GEヘルスケア・ジャパン株式会社  
〒191-8503  
東京都日野市旭が丘4-7-127  
連絡先 ライフサイエンス統括本部  
TEL 03 5331 9336  
FAX 03 5331 9370

## 製造元

GE Healthcare UK Ltd  
Amersham Place, Little Chalfont,  
Buckinghamshire HP7 9NA,  
England

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 可燃性固体 - 区分2

GHS ラベル要素

危険有害性の絵文字



注意喚起語

警告

危険有害性情報

可燃性固体。

注意書き

概要

安全対策

保護手袋を着用すること。保護眼鏡または保護面を着用すること。熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

応急措置

非該当

保管

非該当

廃棄

非該当

他の危険有害性

認知済みのものは無し。

## 3. 組成および成分情報

化学物質／混合物 化学物質

化学名 Nitrocellulose

化学物質を特定する他の方法 ニトロセルロース; ニトロセルローズ

CAS 番号／他の特定名

CAS 番号

9004-70-0

ENCs 番号

(8)-176



28415513

ISHL 番号	(8)-176			
成分名	%	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法)	官報公示整理番号 (労安法)
Nitrocellulose	100	9004-70-0	(8)-176	(8)-176

本製品の補足的な成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

## 4. 応急措置

### 必要な応急処置の説明

吸入した場合	推薦事項特になし。
飲み込んだ場合	推薦事項特になし。
皮膚に付着した場合	石鹸と水で洗浄する。炎症がある場合は医師の治療を受ける。
眼に入った場合	眼に接触した場合、直ちに多量の水で洗浄する。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

### 最も重要な急性および遅発性の症状/影響

起こりうる急性毒性	
眼に入った場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
吸入した場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に付着した場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	重大な作用や危険有害性は知られていない。

### 短期暴露

潜在的な遅発性作用	非該当
-----------	-----

### 過剰暴露の徴候/症状

眼に入った場合	特にデータは無い。
吸入した場合	特にデータは無い。
皮膚に付着した場合	特にデータは無い。
飲み込んだ場合	特にデータは無い。

### 必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置の指示

医師に対する特別な注意事項	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
特定の治療法	特定の治療法はない。
応急措置をする者の保護	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。

有害性情報を参照(セクション11)

## 5. 火災時の措置

消火剤	
適切	粉末化学消火剤、炭酸ガス、ウォータースプレー、泡消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	ウォータージェットを使用してはならない。
火災時の措置に関する特有の危険有害性	可燃性固体。
有害な熱分解生成物	分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 窒素酸化物
消火を行う者に対する注意事項	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。
消火を行う者の特殊保護具	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

緊急時要員以外の人員用	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
-------------	---



緊急時の責任者用	流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
環境に対する注意事項	漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
少量流出	漏出区域から容器を移動する。火花防止型の工具および防爆型の装置を使用する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
大量流出	漏出区域から容器を移動する。火花防止型の工具および防爆型の装置を使用する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 安全に取扱うための注意事項

保護措置	適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。摂取してはならない。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。十分な換気がない限り、保管場所および密閉された空間に入らないこと。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。火花を発生させない工具を使用すること。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。容器を再利用してはならない。
一般的な職業衛生に関する助言	本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。
安全に保管するための注意事項	以下の温度範囲で保管する：18 から 25°C (64.4 から 77°F)。現地の法規制に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保管する。あらゆる発火源を除去する。酸化性物質に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

#### 曝露限界

##### 成分名

該当なし

##### 暴露限界値

#### 適切な技術的管理

#### 環境暴露管理

### 個人の保護措置

#### 衛生対策

#### 保護眼鏡/保護面

#### 皮膚の保護

#### 手の保護具

#### 身体保護具

#### その他の皮膚保護具

#### 呼吸用保護具

換気が十分な場所でのみ使用する。ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を暴露限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。防爆型換気装置を使用する。

換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げるために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を充分に洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。

リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不透透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。静電気から引火する可能性がある場合には、帯電防止防護服を着用しなければならない。静電放電から最大限に保護するためには、保護具に帯電防止オーバーオール、長靴および手袋が含まれていなければならない。

この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

物理的状態	固体。
色	白。
臭い	無臭。



臭いのしきい	非該当
pH	非該当
融点	非該当
沸点	非該当
引火点	密閉式： 4.44°C (40°F)
燃焼点	非該当
蒸発速度	非該当
燃焼性(固体, 気体)	Product becomes a 'Flammable Solid category 2' after removing the membrane from the package. If the product is still in it's original packaging it is not a 'Flammable Solid category 2'.
爆発(燃焼)限界の上限および下限	非該当
蒸気圧	0 kPa (0 mm Hg) [室温]
蒸気密度	非該当
比重	1.66
溶解度	以下の物質に一部溶解する：メタノール、ジエチルエーテル および アセトン。 以下の物質に不溶性：冷水 および 温水。
水への溶解度	非該当
n-オクタノール／水分分配係数	非該当
自然発火温度	>160°C (>320°F)
SADT	非該当
分解温度	非該当
粘度	動的 (室温): 非該当 動粘性率 (室温): 非該当
燃焼時間	非該当
燃焼速度	非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	製品は安定である。
危険有害反応可能性	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	いかなる発火源（火花あるいは炎）にも近づけてはならない。
混触危険物質	次の物質と反応性あるいは危険配合性： 酸化性物質
危険有害な分解生成物	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

毒物学的作用に関する情報

急性毒性						
製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間		
Nitrocellulose	LD50 経口	ラット	>5 g/kg	-		
結論/要約						
刺激性/腐食性						
製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察	
非該当						
感作						
製品 / 成分の名称	暴露経路	種類	結果			
非該当						
変異原性						
製品 / 成分の名称	テスト	試験		結果		
非該当						
発がん性						
製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間		
非該当						
生殖毒性						
製品 / 成分の名称	妊娠毒性	妊性	発生毒性	種類	投与量	暴露時間
非該当						



## 催奇形性

## 製品 / 成分の名称

非該当

## 結果

## 種類

## 投与量

## 暴露時間

## 特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)

非該当

## 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)

非該当

## 呼吸に対する危険有害性

非該当

## 可能性のある暴露経路についての情報

予想されない侵入経路: 経口、経皮、吸入した場合。

## 起こりうる急性毒性

## 吸入した場合

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 飲み込んだ場合

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 皮膚に付着した場合

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 眼に入った場合

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

## 眼に入った場合

特にデータは無い。

## 吸入した場合

特にデータは無い。

## 皮膚に付着した場合

特にデータは無い。

## 飲み込んだ場合

特にデータは無い。

## 遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

## 短期暴露

## 潜在的な即時性作用

非該当

## 潜在的な遅発性作用

非該当

## 長期暴露

## 潜在的な即時性作用

非該当

## 潜在的な遅発性作用

非該当

## 健康への慢性効果の可能性

非該当

## 結論/要約

無毒。

## 概要

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 発がん性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 変異原性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 催奇形性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 発育への影響

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 生殖能力に対する影響

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 毒性の数値化

## 急性毒性の推定

非該当

## その他の情報

非該当

## 12. 環境影響情報

## 毒性

## 製品 / 成分の名称

Nitrocellulose

## 結果

急性 EC50 579000 µg/l 真水

## 種類

藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata

## 暴露時間

96 時間

## 結論/要約

重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 残留性・分解性

非該当

## 生体蓄積性

非該当



## 土壌中の移動性

土壌/水分分配係数(K <sub>oc</sub> )	非該当
移動性	非該当
オゾン層への有害性	非該当
その他の悪影響	重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

## 14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	非該当	Not regulated.	Not regulated.
品名(国連輸送名)	—	—	—
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	—	—	—
容器等級	—	—	—
環境有害性	該当せず。	No.	No.
追加情報	<b>備考</b> Product is not regulated as Dangerous Goods for transport according to a expert opinion by BAM (Bundesanstalt für Materialforschung und -prüfung) with number 2.2-91/15 -E on 12 May 2015. "The above named nitrocellulose membrane filters (in form of round filters, pre-cut parts and curved parts ) do not fulfill the criteria of Class 1 'Explosives' and the division 4.1 'Flammable Solids' of RID/ADR (GGVSE), IMDG-Code (GGVSee) and the ICAO-Technical Instructions."	<b>Remarks</b> The product is not regulated as Dangerous Goods for transport according to a expert opinion by BAM (Bundesanstalt für Materialforschung und -prüfung) with number 2.2-91/15 -E on 12 May 2015. "The above named nitrocellulose membrane filters (in form of round filters, pre-cut parts and curved parts ) do not fulfill the criteria of Class 1 'Explosives' and the division 4.1 'Flammable Solids' of RID/ADR (GGVSE), IMDG-Code (GGVSee) and the ICAO-Technical Instructions."	<b>Remarks</b> The product is not regulated as Dangerous Goods for transport according to a expert opinion by BAM (Bundesanstalt für Materialforschung und -prüfung) with number 2.2-91/15 -E on 12 May 2015. "The above named nitrocellulose membrane filters (in form of round filters, pre-cut parts and curved parts ) do not fulfill the criteria of Class 1 'Explosives' and the division 4.1 'Flammable Solids' of RID/ADR (GGVSE), IMDG-Code (GGVSee) and the ICAO-Technical Instructions."

## 使用者のための特別な予防措置

**使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

## 15. 適用法令

## 消防法

カテゴリ	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第二類	引火性固体	III	火気厳禁	1000 kg

消防法 - 妨害物質 非該当

指定可燃物 非該当

指定数量 非該当

## 海事安全

危険物の海上運送規制に関する通達

非該当

容器等級

非該当



**労働安全衛生法**

特定化学物質の用途

非該当

ラベルに関する規定

成分名	%	状況	政令番号
ニトロセルロース	100	該当	25-3

名称等を通知すべき危険物及び有害物

成分名	%	状況	政令番号
Nitrocellulose	100	該当	424

発がん性物質

非該当

変異原性物質

非該当

腐食性液体	非該当
労働安全衛生法: 別表第一	可燃性固体。
鉛中毒予防規則	非該当
四アルキル鉛中毒予防	非該当

製造の許可を受けるべき有害物	非該当
----------------	-----

製造等が禁止される有害物等	非該当
---------------	-----

危険物	爆発性
-----	-----

有機則	非該当
-----	-----

**化審法**

非該当

毒物及び劇物取締法

該当せず。

**化学物質排出把握管理促進法(PRTR)**

該当せず。

日本産業衛生学会 発がん性物質	非該当
海洋汚染および海洋災害防止法	非該当

道路法	非該当
特別管理産業廃棄物リスト	非該当

日本インベントリ	日本インベントリ(ENCS)(既存及び新規化学物質): 当物質は記載されているかあるいは免除されている。 日本インベントリ(ISHL): 当物質は記載されているかあるいは免除されている。
----------	--

**国際規格**

化学兵器禁止条約リストスケジュールI、II、IIIの化学物質

非該当。

モントリオール議定書(付属文書A、B、C、E)

非該当。

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約

非該当。

事前通報承認制度(PIC)に関するロッテルダム条約

非該当。

POPおよび重金属に関するUNECEオルフス(Aarhus)議定書



非該当。

**国際リスト****国別目録**


ヨーロッパ	未確定。
米国	当物質は記載されているかあるいは免除されている。
カナダインベントリー	当物質は記載されているかあるいは免除されている。
中国	当物質は記載されているかあるいは免除されている。
日本	日本インベントリー(ENCS)(既存及び新規化学物質): 当物質は記載されているかあるいは免除されている。 日本インベントリー(ISHL): 当物質は記載されているかあるいは免除されている。

**16. その他の情報****履歴**

印刷日	9/12/2016
発行日/改訂版の日付	2016年9月12日
前作成日	前もって確認されていない
バージョン	2.01
	msdslifesciences@ge.com

**分類を行うために使用する手順**

	分類	正当化
可燃性固体 - 区分2		試験データに基づく
参照	非該当	

 前バージョンから変更された情報**注意事項**

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

